

全国高等学校ビジネス計算競技大会 兼
全九州高等学校ビジネス計算競技大会 福岡県予選大会規定 (令和7年度適用)

波線は本年度からの変更点です。

1. 期 日 6月第1日曜日とする。
2. 参加資格 福岡県高等学校商業教育研究部会会員校の生徒に限る。
(会員校は学校を単位とみて商業系生徒でなくてもよい。)
3. 参加人数 制限なし。
4. 競技規定

I. 【珠算の部】

全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する。

(1) 競技の種類

- ア. 団体・個人総合競技
- イ. 種目別競技 (読上暗算・応用計算・読上算)

(2) 総合競技の問題内容及び配点

全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する内容で、次のとおりとする。

- ア. 普通計算 乗算 10題 (満点100点)
除算 10題 (満点100点)
見取算 10題 (満点100点) 制限時間一括12分
- イ. 応用計算 15題 (満点300点) 制限時間 15分

(3) 種目別競技の問題程度及び内容

ア. 読上暗算競技 (全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する)

- 予選 2桁以上4桁以内15口以内の加算及び加減算3題で、2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決勝 2桁以上15口以内の加算及び加減算で、1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。

イ. 応用計算競技 (全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する)

- 予選 3題中2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決勝 1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。状況によって、計算速度の順をつける。その場合、計算が終了した選手は挙手をすることができる。ただし、挙手後は計算できない。正答の場合、計算速度の順位が早い選手が上位となる。

ウ. 読上算競技 (全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する)

- 予選 5桁以上10桁以内15口以内の加算及び加減算3題で、2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決勝 5桁以上15口以内の加算及び加減算で、1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。

(4) 順位・表彰

ア. 団体総合競技

同一校より3名以上の選手が出場している場合に限り、得点上位3名の合計点により、優勝1校・2位1校・3位1校の合計3校を表彰する。

※ 同点の場合は、応用計算得点合計が高い団体を上位とする。

応用計算得点合計も同じ場合は同位とする。ただし、順位決定が必要な場合（3位決定等）は同点決勝を行う。

なお、優勝決定については、応用計算の得点にかかわらず、同点決勝を行う。

イ. 個人総合競技

優勝1名・2位～10位まで各1名・優秀賞**6名**の合計**16名**を表彰する。

※ 同点の場合は、応用計算得点が高い方を上位とする。

応用計算得点も同じ場合は同位とする。ただし、順位決定が必要な場合（10位決定、優秀賞**6人目**の決定、団体3人目の決定、代表選手決定等）は同点決勝を行う。

なお、優勝決定については、応用計算の得点にかかわらず、同点決勝を行う。

ウ. 同点決勝の実施要領

○ 問題 乗算・除算・見取算・応用計算の各2題の合計8題を一括し、原則として制限時間**5分30秒**で競技を行う。速度順位をつけ、順位決定後は計算できない。なお、配点は総合競技に準ずる。

○ 判定 得点の上位の選手を優位とする。同点の場合は、応用計算得点が高い方を上位とする。応用計算得点も同じだった場合は速度順位で決定する。**制限時間内に挙手しなかった場合は、挙手した選手の次の順位とする。なお、全問計算しないで挙手をしても構わない。**

エ. 種目別競技（読上暗算・応用計算・読上算）

優勝1名、2位2名、3位3名を原則、各々表彰する。

II. 【電卓の部】

全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する。

(1) 競技の種類

ア. 団体・個人総合競技

イ. 種目別競技（応用計算・読上算）

(2) 総合競技の問題内容及び配点

全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する内容で、次のとおりとする。

ア. 普通計算	乗算	10題	(満点100点)		
	除算	10題	(満点100点)		
	見取算	10題	(満点100点)	制限時間一括	6分
イ. 応用計算		15題	(満点300点)	制限時間	15分

(3) 種目別競技の問題程度及び内容

ア. 応用計算競技（全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する）

- 予 選 3題中2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決 勝 1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。状況によって、計算速度の順をつける。その場合、計算が終了した選手は挙手をすることができる。ただし、挙手後は計算できない。正答の場合、計算速度の順位が速い選手が上位となる。

イ. 読上算競技（全国高等学校ビジネス計算競技大会規定に準拠する）

- 予 選 5桁以上10桁以内15口以内の加算及び加減算3題で、2題以上の正答者を予選通過者とする。ただし、2題以上の正答者が6名に満たない場合は、1題の正答者を予選通過者とする。
- 決 勝 5桁以上15口以内の加算及び加減算で、1題毎に勝ち残り方法で競技を行う。

(4) 順位・表彰

ア. 団体総合競技

同一校より3名以上の選手が出場している場合に限り、得点上位3名の合計点により、優勝1校・2位1校・3位1校の合計3校を表彰する。

※ 同点の場合は、応用計算得点合計が高い団体を上位とする。

応用計算得点合計も同じ場合は同位とする。ただし、順位決定が必要な場合（3位決定等）は同点決勝を行う。

なお、優勝決定については、応用計算の得点にかかわらず、同点決勝を行う。

イ. 個人総合競技

優勝1名・2位～7位まで各1名・優秀賞3名の合計10名を表彰する。

※ 同点の場合は、応用計算得点が高い方を上位とする。

応用計算得点も同じ場合は同位とする。ただし、順位決定が必要な場合（7位決定、優秀賞3人目の決定、団体3人目の決定、代表選手決定等）は同点決勝を行う。

なお、優勝決定については、応用計算の得点にかかわらず、同点決勝を行う。

ウ. 同点決勝の実施要領

- 問 題 乗算・除算・見取算・応用計算の各2題の合計8題を一括し、原則として制限時間**4分30秒**で競技を行う。速度順位をつけ、順位決定後は計算できない。なお、配点は総合競技に準ずる。

- 判 定 得点の上位の選手を優位とする。同点の場合は、応用計算得点が高い方を上位とする。応用計算得点も同じだった場合は速度順位で決定する。**制限時間内に挙手しなかった場合は、挙手した選手の次の順位とする。なお、全問計算しないで挙手をしても構わない。**

エ. 種目別競技（応用計算・読上算）

優勝1名、2位2名、3位3名を原則、各々表彰する。

(5) 使用する電卓について

机上に置く電卓は1台とする。

電源コード機能があるものは不可とする。

プリンタ機能があるものは不可とする。

パソコン等、外部機器と接続することは不可とする。

5. 県代表選手の選出について

(1) 全国大会の県代表選手について

- ① 全国商業高等学校協会会員校の生徒に限る。(学校が加盟していれば商業系生徒でなくてもよい。)
- ② 珠算の部・電卓の部ともに、総合競技得点の上位より、団体優勝チーム(3名×1=3名)を県代表として選出する。
- ③ 個人の代表選手(珠算2名、電卓2名)については、団体優勝チーム以外の学校より、参加標準得点(珠算の部250点、電卓の部300点)に到達している選手の中から得点上位者を選出する。
※ 団体優勝校は個人出場と兼ねることができないため、同一校から上限3名の出場となる。
- ④ 種目別競技の出場選手数は全国大会規定により、次のとおり決定する。
 - ア. 珠算の部の競技種目は、応用計算・読上暗算・読上算とする。電卓の部の競技種目は応用計算・読上算とする。
 - イ. 一人につき2種目出場できる。(したがって、電卓の部の選手は全員、応用計算・読上算に出場となる。)
珠算の部の選手は各種目において、最大4名までしか出場できない。
 - ウ. 出場種目の決定は各選手の希望による。ただし、種目別競技において入賞した選手の希望を優先する。それでもなお決まらない場合は、競技大会終了後、決定戦を行う。

(2) 九州大会の県代表選手について

- ① 九州地区商業高等学校長会加盟校の生徒に限る。(学校が加盟していれば商業系生徒でなくてもよい。)
- ② 総合競技得点の上位より、珠算の部・電卓の部ともに、団体優勝チーム(3名×1=3名)を県代表として選出する。
- ③ 個人の代表選手(珠算16名、電卓10名)については、団体優勝チーム以外の学校より、参加標準得点(珠算の部250点、電卓の部300点)に到達している選手の中から得点上位者を選出する。
- ④ 団体優勝チームでなくても、個人で3名以上選出されている場合は団体競技への出場が認められる。

*付 則 (令和2年度より記入)

令和2年度より、全国大会の県代表選手の人数を変更。(珠算・電卓)

令和4年度より、同点決勝の2回目以降の実施方法を変更。(珠算・電卓)

令和6年度より、個人総合競技の入賞者数を変更。(珠算・電卓)

種目別競技の入賞者数に「原則」を追加。(珠算・電卓)

九州大会の県代表選手の人数を変更。(珠算・電卓)

全国大会および九州大会の県代表選手の選出について、参加標準得点の項目を追加。(珠算・電卓)

令和7年度より、個人総合競技の入賞者数を変更(福岡県が開催県のため)。(珠算)

九州大会の県代表選手の人数を変更(福岡県が開催県のため)。(珠算・電卓)

同点決勝の制限時間、判定の変更。(珠算・電卓)